

特 記 仕 様 書

第1 総 則

- 1 この仕様書は、上尾市消防本部（以下「発注者」という。）が購入する「消防ポンプ自動車CD-I型（8分団）」（以下「ポンプ車」という。）の仕様に必要なことを定める。
- 2 このポンプ車は、国家検定A2級バランスタービンを装備し、河川、消火栓等の水利より強力な放水をなし得るもので、耐久性、安定性に富み、火災に対し速やかに対応出来る機動性、操作性を有するとともに、点検整備が容易な構造であること。
- 3 艀装は、全般にわたり検査が実施された最新式の形態であつて、製作に使用する全ての材料は、日本産業規格に基づき精選されたものとする。
なお、購入台数は1台とする。
- 4 このポンプ車は「道路運送車両法」（昭和26年法律第185号）及び「道路運送車両の保安基準」（昭和26年運輸省令第67号）その他関係法令に全て適合し、緊急自動車として承認が得られるものとする。
- 5 受注者は契約締結後、発注者と仕様詳細について協議を行い、その結果に基づいて承認申請図書を作成して、発注者へ提出すること。
- 6 車両の取り扱い説明を発注者の指定した日時及び場所において実施することとし、これにかかる費用は、受注者負担とする。
- 7 この仕様書の内容について疑義が生じたときは、発注者と協議を行なうものとする。
- 8 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うものとする。
- 9 保証期間は納入後1年間とし、その期間内に不適合箇所が生じた場合は、受注者の責任と負担において修復すること。ただし、保証期間経過後であつても、設計不良、材料の不良等製作上の欠陥に起因する不都合が発生した場合は、受注者の責任と負担で修復すること。
- 10 自動車重量税、検査登録印紙代、リサイクル料、自動車損害賠償責任保険料を除く、諸経費については受注者が負担する。
- 11 緊急車両の登録については受注者が負担する。
- 12 旧ポンプ車1台（平成20年納車、ジーエムいちはら工業株式会社製造）及び旧資機材の処分またはオークションについては、別途、発注者と協議の上、その指示を受けること。

なお、一時抹消若しくは永久抹消手続きを行うときは、自動車重量税及び自動車賠償責任保険の還付及び廃車手続き、緊急自動車指定証等返納届を行うこと。廃車手続きに係る費用については受注者の負担とする。

第2 提出書類

1 製作承認図等

製作着手前に次の書類を2部提出し、発注者の承認を得ること。

- (1) 製作工程表
- (2) 製作承認図（車両5面図 1/20）
- (3) 艀装設計図
- (4) 車体骨組図
- (5) ポンプ及び真空ポンプ装置図
- (6) 動力伝達装置図
- (7) ポンプアッセンブリシャシ装置図
- (8) 性能諸元表
- (9) 配管図
- (10) 電気配線図
- (11) その他発注者の指示するもの

2 納車時提出書類

納車時、次に掲げる書類を2部提出すること。

- (1) 完成図（車両5面図 1/20）
- (2) シャーシ諸元明細表
- (3) エンジン性能表
- (4) ポンプ諸元表
- (5) ポンプ性能試験成績表
- (6) ポンプ搭載図・配管図
- (7) 真空試験成績表
- (8) 自動車改造計算書
- (9) 自主表示の写し
- (10) 鑑定に合格したことを示す証票の写し
- (11) 無線局免許状の写し
- (12) 特定無線設備の技術基準適合証明の写し
- (13) 自動車検査証の写し

- (14) 緊急自動車届出確認証
- (15) 各種取扱説明書
- (16) 保証書
- (17) 納品内訳書
- (18) その他発注者が指示するもの

3 検査

- (1) 検査は、原則として次に掲げるものとする。
 - ア 中間検査（実施時期は車両の塗装前とする。）
 - イ 完成検査（実施時期は納車時とする。）
- (2) 検査を受けようとするときは、検査予定日の14日前までに検査日時、場所等を記載した書面を提出し、発注者の承諾を得ること。
- (3) 検査は、発注者の指示に従って受けることとし、発注者が不合格と認めたときは直ちに改善のうえ、再検査を受けることとする。
- (4) 検査を受ける際には、営業及び技術担当者が立会うこと。

第3 納入

- 1 納入期限は、令和9年2月18日とする。

なお、社会経済情勢の変化など、特別な理由により納期までに納品できない見込みとなった場合は、協議により納期を変更する事ができるものとする。ただし、変更にあたっては発注者の予算手続きが必要となることから、受注者からの納期の変更の申し出は、令和8年10月15日までに行うものとする。
- 2 納入場所 上尾市消防本部（上尾市大字上尾村537番地）
- 3 納入台数 1台
- 4 自動車登録番号 「・268」

第4 シャーシ

- 1 使用シャーシ

シャーシは、日野自動車又はいすゞ自動車の3トン車級の4ドアダブルキャブ付消防専用シャーシとすること。また、最新型式のものとし、国土交通省が制定した自動車排出ガス規制「ポスト新長期規制」に適合したものを使用すること。
- 2 車両概要
 - (1) 2輪駆動方式

- (2) オートマチックトランスミッション（パーキングレンジ付）
- (3) 乗車定員 6名
- (4) パワーステアリング
- (5) 電動油圧式キャブチルト装置
- (6) 電動格納ミラー
- (7) 完成車の寸法等

ア 全長	5, 700 mm程度
イ 全幅	1, 900 mm程度
ウ 全高	2, 500 mm程度
エ 車両総重量	5, 000 kg未満
- (8) LEDヘッドランプ（フォグラмп付き）

3 車両装備等

- (1) カーエアコンを取付ける。
- (2) 燃料タンクの容量は60ℓ以上とする。
- (3) バッテリーの容量は、24V－130E以上とする。
- (4) オルタネーターは、24V－50A以上とする。
- (5) フロント及びリアナンバーにステンレス製枠を取付ける。
- (6) サイドバイザーを各ドアに取付ける。
- (7) エンジン油温計、電圧計を運転席付近に取付ける。
- (8) カーラジオ、時計は標準装備品とする。
- (9) 前席ドア下部の乗降ステップにスベリ防止措置を施す。
- (10) 後部座席下部に工具箱（標準工具等入れ）を備える。
- (11) サンバイザーを運転席及び助手席に取付ける。
- (12) キャビン側面各ドア後部に、長さ約30cmの乗降用手摺棒を取付ける。
- (13) 乗車人員は、キャビン内前後席各3人の6人乗りとする。
- (14) キックプレートを取付ける。
- (15) オイルパンヒーターを取付ける
- (16) 装着タイヤは、ブリヂストン製M888相当のものとする。
- (17) その他メーカー標準仕様とする。

第5 艀装関係

1 概要

- (1) ポンプ性能は、消防検定A－2級合格品以上とする。
- (2) 資機材収納庫を発注者と協議の上、車両の適所に設ける。

2 主ポンプ

- (1) 国家検定A2級アルミ製高圧二段バランスタービンポンプとし、全ての材料は精選された耐久性に富むものを使用し、合理的な水速を保持できるものとする。
放水量で 2, 600ℓ /min分以上、高圧放水量で2, 000ℓ /min以上の性能を有すること。又は、同等品以上とする。
- (2) シャシエンジンを使いP T Oにより駆動させ、P T O操作は運転席に設けられたスイッチ又は、レバーにより行うものとする。
- (3) ポンプグラントは、消耗品交換、調整等の整備を必要としないメカニカル方式とし「メカニカルシール」の銘板を表示すること。
- (4) 環境に配慮し、軸受け部などの給脂は不要とする。(グリスレス)

3 真空ポンプ

- (1) 真空ポンプは、無給油式とする。また地下式防火水槽から長い吸水を想定して偏心ロータリー式真空ポンプとし、排気量を1, 500cc以上とする。
- (2) 動力伝達機構は、押しボタンスイッチ式とする。
- (3) 真空ポンプ操作は、ポンプ室左右に設けた押しボタンによって行うものとし、揚水した後は自動的にクラッチが切れる構造とする。

4 不凍液注入装置

主ポンプ等の凍結を防止するため不凍液注入装置を設ける。

5 自動揚水装置

- (1) 真空ポンプ等の磨耗を最小限にし、揚水操作を迅速に行うための自動揚水装置を取付ける。揚水時間は、地下式水槽にて5秒台で完了すること。
- (2) ポンプ室左右に自動揚水装置操作パネルを設け、次の操作スイッチ等を設ける。
 - ア 真空ポンプ作動スイッチ
 - イ 真空ポンプ停止スイッチ
 - ウ 非常作動スイッチ
 - エ 揚水不能警報装置
 - オ 流量計
- (3) 揚水装置にかかわる真空ポンプの作動、停止及び非常作動スイッチは容易に操作ができるものとする。

6 吸水口

吸水管は、内径100mmとし、ポンプ室にて左右に分岐し、車体両側に75mmボールcock付吸水口（ストレーナー付）を各1個取付け、エゼクターバルブにより連続吸水が可能な構造とする。

7 放水口

- (1) 65mmボールcock付放水口を車両両側に各2個取付ける。
- (2) 吐水cockを閉じた状態で揚水完了と同時に吐水配管内の圧縮空気を有効に排除できる装置を取付ける。
- (3) 配管中の空気を真空ポンプにて強制的に排除する方式とし、吸水導管には空気を戻さない構造とする。

8 中継口

中継口は、内径65mmとし、吸水管より取り出し、車体両側に各1個65mmボールcock付中継口（ストレーナー付）を取付ける。また、不要な空気を遮断し効率の良い揚水を可能にする負圧作動弁を取付けること。

9 ドレインバルブ

ドレインバルブは、操作が容易な位置に集中して取付ける。なお、ドレイン配管は、配管内の残水が完全に排出できるように設ける。

10 車体の構造

- (1) キャビン内前席天井付近に操作性を重視した、オーバーヘッドコンソールを設け、電子サイレン、無線受令機、スイッチ類、ヒューズボックス、計器類を取付ける。
- (2) 消防団マーク（150φ）を、キャビン前面中央に直付する。
- (3) 各ドアの内側に、反射テープを取付ける。
- (4) 後部ドア下部は、ポンプ室から延長した乗降用ステップを設ける。
- (5) ボデーの構造は、鋼板で箱型艀装するほか、ステップ、ボデー及びポンプ室上部はアルミ縞板貼りとし、端部を折り曲げ加工する。
- (6) ポンプ室側板は密閉型とし、点検、手入れが容易な構造とする。
- (7) ポンプ室上部の有効なスペースにシャッター式の収納庫を設け、資器材落下防止用の可動式パイプを取付ける。
- (8) 燃料タンク給油口（鍵付キャップ）はボデー側面とする。
- (9) 足掛け用の蹴り込み部分、積載品等がボデーと接触する部分、ドア内側足元付近には、アルミ製保護板等を貼る。
- (10) ボデーの後部は、次のとおりとする。

ア ポンプ室後部にシャッター式収納庫を設け、収納庫内部は可動式3段仕切りと

する。

イ 加納式ホースカーの収納装置を取付ける。

ウ ストレート管そう 2 本を取付ける。

(11) ポンプ室前部左右下部を張り出し前輪後枠まで延長し、収納庫を設ける。

(12) 乗車時及び走行時の安全確保のため、握り棒又は、手すりを適所に取り付ける。

(13) 外装砲金部分は付属品を含め上質のクロムメッキを施す。(ステンレス又はアルミ可)

(14) キャビン内後部座席下部に収納庫を設ける。

(15) キャビン下部に、引き出し式のバッテリー収納ボックスを取付ける。

(16) 全車輪に、泥よけゴムを取付ける。

(17) ポンプ室両側板に、可倒式ステップをアルミ製保護板付で適所に取り付ける。

(18) ボデー後部の加納式ホースカーに分岐管及び無反動ノズルを取付ける。

(19) 各収納庫内には、LED照明灯を取付ける。又底部には、すのこを設け、庫内は防水処理をし、水抜き口を取付ける。

(20) 右吸管付近の操作上支障のない位置に、無反動ノズルを取付ける。

(21) ポンプ室上面には、ロープの縛着に十分耐える強度を有する手すりを設ける。

(22) 手すり欄干部(運転席・助手席側)にLED照明を取り付ける。

(23) 梯子は降ろしやすいうように、必要に応じて昇降装置等を設け積載すること。

(24) 後部ステップは、ポンプ操法訓練時にホースを置いた際、落下しない長さを有すること。

(25) ボデーの適所に消火器(蓄圧式20型)を取付ける。

(26) 車両の前後に牽引フックを取付ける。

(27) ずばら充電器を車載加工し、車体外部電源ソケットで充電できる構造とすること。

(28) フロントバンパー上部踏面及び下部踏面に、アルミニウム製縞板を張ること。

なお、フロントバンパーに強度がない時は、不要とする。

11 電気配線

(1) 各電気配線は、配線用保護管により内張り内を通して、各装備品の取付け位置まで極力露出を抑えながら配線すること。

(2) 各電気配線がボデーを貫通する部分は、グロメットを使用し、また外圧のかかる部分は十分に保護する。

(3) 艀装電気回路には、別にヒューズを取付ける。

第6 塗装及び記入文字

1 塗装

- (1) 車体の塗装は朱色とする。
- (2) 外板部は、完全な防錆加工を施す。
- (3) 各ステップ及びポンプ室上部は銀色（アルミ製）とする。
- (4) ボックス内はアンダーコーティング後、オリエンタルグリーン塗装する。
- (5) ボデー下回りはアンダーコーティング後、黒色塗装する。

2 記入文字＊文字の大きさは別途協議

- (1) キャビン左右側面に「上尾市消防団第八分団」と左書きで記入する。（漢数字）
 - ア 書体 丸ゴシック体
 - イ 文字の色 白
- (2) 標識灯に「八分団」と左書きで記入する。（漢数字）
 - ア 書体 丸ゴシック体
 - イ 文字の色 黒色
- (3) 各付属品に「8分団」と記入する。（数字）
 - ア 書体 丸ゴシック体
 - イ 文字の色 付属品の反対色（白又は、黒）
- (4) フロントガラス右下に「8分団」と記入する。（数字）
 - ア 書体 丸ゴシック体
 - イ 文字の色 白
- (5) キャビン屋根上面部に「上団8」と記入する。（対空文字・数字）
 - ア 書体 丸ゴシック体
 - イ 文字の色 白
- (6) ボデー側面左右シャッターに「8」と記入する。（数字）
 - ア 書体 丸ゴシック体
 - イ 文字の色 赤
- (7) 後部シャッター上方中央2段で「上尾市消防団 第八分団」と記入する。（漢数字）
 - ア 書体 丸ゴシック体
 - イ 文字の色 赤

第7 取付品

1 計器及び電装品

(1) ポンプ圧力計

ポンプ室左右側面に各 1 個取付ける。

(2) ポンプ連成計

ポンプ室左右側面に各 1 個取付ける。

(3) エンジン回転計

運転席に 1 個取付ける。

(4) エンジン油温計

運転席に 1 個取付ける。

(5) 流量計

ポンプ室左右側面に各 1 個取付ける。

(6) 赤色警光灯

キャビン上前方中央台座上に 1 個取付ける。（大阪サイレン NF-ML-XKDM-LA 又は、同等品）

(7) 電子サイレンアンプ

電子サイレンアンプ（OS 製 TSK-D152 又は、同等品）は、警鐘の疑似音を発することができ、かつ、拡声装置としても使用できるものとする。

なお、取付けはキャビン内オーバーヘッドコンソールとし、スピーカーは赤色警光灯内蔵とする。

(8) 後退警報器

後部の適所に取付ける。

(9) 標識灯

ポンプ室前部右側に、手動引き上げ式を 1 個取付け、スイッチはキャビン内オーバーヘッドコンソールに取付ける。

(10) 電動サイレン

電動サイレンは赤色警光灯に組み込み、スイッチは足踏み式（カバー付）を助手席側に、押ボタン式をダッシュボード上に各 1 個取付ける。

(11) 前部赤色警光灯

車両前部に台座を設けて 2 個取付け、スイッチはキャビンルーフ上の赤色警光灯を連動させる。（OS 製 LFA-100 又は同等品）

(12) 後部赤色警光灯

ボデー後部に台座を設けて、保護枠付で 2 個取付け、スイッチはキャビンルーフ

上の赤色警光灯と連動させる。（ＯＳ製ＬＦＡ－１００又は同等品）

(13) 計器灯

ポンプ室左右の計器盤上部にＬＥＤ灯を取付ける。

(14) 揚水装置

ポンプ室左右に各１個取付ける。

(15) ポンプ室内灯

ポンプ室内部に１個取付け、スイッチはスモールランプと連動させる。

(16) アワーメーター

キャビン内のオーバーヘッドコンソール内又は、運転席付近に１個取付ける。

(17) 室内灯

キャビン内天井前席中央及び後席中央にＬＥＤ灯を取付ける。

また、助手席の左上部及び後部座席右上部にマップランプを各１個取付ける。

(18) 路肩灯・車幅灯

左右後輪の前部ステップ下に路肩灯を各１個、後部ステップ両隅に車幅灯を取付け、スイッチはスモールランプと連動させる。

(19) 照明灯（ＨＩＤ式サーチライト）

ポンプ室前部左側及び後部右側に、手動引き上げ式を各１個取付け、スイッチを適所に取付ける。（ＯＳ製ＤＳ３５Ｆ－Ｓ２又は、同等品）

(20) 無線受令機

本体は、旧車両に既存するものをキャビン内オーバーヘッドコンソールに組み込み、スピーカー（小型）をセンターピラー左上部に取付ける。

また、外部アンテナ及び配線等にあつては新規のものを取付け、チャンネルは、１ＣＨ 151.11MHz、２ＣＨ 149.73MHz、３ＣＨ 148.29MHzとすること。

(21) ドライブレコーダー

映像記録型ドライブレコーダー（常時録画・高画質タイプ）を運転の支障にならない位置に取り付ける。

(22) Ｓ字フック

キャビン内の握り棒に６個取付ける。

(23) 住宅地図用ボックス

キャビン内の握り棒中央部分に住宅地図用ボックスを取り付ける。（Ｈ３３０mm×
Ｗ３００mm×Ｄ７０mm）

(24) ヘルメット用フック

キャビン内後部上に5個取付ける。(固定式)

(25) 拡声用マイクジャック

マイクジャック(マイク付)をキャビン内センターピラー又は、後部席付近に取付ける。

2 付属品及び積載品

(1) 別表のとおり

(2) 積載場所、積載方法等については、別途に協議して決定するものとする。

第8 補足

- 1 本仕様書に定めない事項についても、工作上当然必要と思われるものについては全て行うこと。
- 2 車両及び付属品等は、全ての検査に合格したものを納入すること。
- 3 受注者は、製作承認後やむを得ない事情のため、仕様の変更又は疑義が生じた場合は、速やかに発注者に連絡するとともに必要な指示、承認を受けるものとする。
- 4 仕様書にあるメーカー及び型式については参考品とし、同等品以上であれば参考品以外でも可とする。ただし、その場合は、『質問書』にて発注者に確認すること。
- 5 車両登録時は、車両総重量を考慮し、可能な限り資機材を積載した状態で検査をうけること。
- 6 支払は、納品後の一括払いとする。
- 7 受注者は、発注者による納品検査に合格後、発注者へ支払請求書を提出すること。
- 8 発注者は、受注者からの支払請求書に基づき、代金を支払うものとする。

別 表

No.	品 名	数量	配 置	形 式
1	ポンプ圧力計	2個	ポンプ室両側	
2	ポンプ連成計	2個	真空計兼連成計	
3	エンジン回転計	1個		
4	エンジン油温計	1個		
5	流量計	2個	ポンプ室両側	
6	電子サイレンアンプ	1個	オーバーヘッドコンソール内	OS製 TSK-D152
7	赤色警光灯	1個	キャビン上部	OS製 NF-ML-XKDM-LA
8	後退警報器	1式		
9	標識灯	1式	ポンプ室前部	
10	電動サイレン	1個	キャビン上部	赤色警光灯組込み
11	前部赤色警光灯	2個		大阪サイレンLFA-100
12	後部赤色警光灯	2個		大阪サイレンLFA-100（保護枠付き）
13	キャブチルト装置	1式		電動油圧式
14	不凍液注入装置	1式		
15	自動揚水装置	1式		
16	吸管	2本	ボディー左右	
17	吸口ストレーナー	2個		
18	吸管ストレーナー	2個		ポリプロピレン製
19	吸管ちりよけ籠	2個		ポリプロピレン製
20	吸管枕木	2個		ゴム製、ワンタッチ式
21	吸管ロープ	2本		ナイロン製 10mm×15m
22	消火栓媒介金具	1個		7.5mm♀ネジ×6.5mm差込♀
23	中継口媒介金具	2個		6.5mm♀ネジ×6.5mm差込♀
24	中継口ストレーナー	2個		
25	消火栓開閉金具	1式		大箱回しT型 日の出パール
		2個		消火栓キー小型

26	貯水槽キー	各2	左吸管内	T型大、L型大
27	吸管スパナ	2個	左吸管脇	
28	放口媒介金具	4個	自在×2含む	65mm♀ネジ×65mm差込み
29	無反動管そう	2本		リニアノズルZ65m/m (ヨネダブコン及びアタッチメント付き)
30	管そう	2本	車両後方のホースカー脇	ヨネダブコン・65-550SF・L (ヨネダブコン付)
31	ノズル	2本		ストレートノズル 20・23
32	とび口	2本	左吸管上部	1.8m
33	バール	2本	ポンプ室上部	ラクラク39バール (900mm)
34	剣先スコップ	1本	後部ステップ下部	
35	ホース延長用資機材	1式		加納式、ホースカバー付
36	はしご	1式	車上	鋼管製折りたたみ式 銀塗装 3.6m以上
37	車輪止	2個	右吸管内	ゴム製
38	消火器	1本	左吸管内	自動車用粉末ABC20型 (蓄圧式)
39	ポンプ工具	1式		
40	消防ホース	10本		軽量65mm「R07上団8」と名入れ
41	タイヤチェーン	1組		シングル
42	分岐管	1個	ホースカー上部	65mm×65mm・2口 2コック式
43	安全型スタンドパイプ	1本	右吸管上部	PS-65F
44	無線受令機	1式	転載	
45	LED強力ライト	2個		パナソニックBF-BS05N-K (電池付)
46	ドライブレコーダー	1式		
47	車幅灯	2個		
48	路肩灯	2個		
49	足元灯	4個	各ドア	
50	計器灯	2個		
51	室内灯	1式		
52	照明灯	2個	ポンプ室前部・後部	OS製 DS35F-S2

53	S字フック	6個		
54	ヘルメット用フック	5個		
55	拡声用マイクジャック	1式		マイク付
56	シャットオフコック	2個		6.5mm差込♀×6.5mm差込♂
57	媒介金具	各1		6.5mm差込♂×6.5mm差込♂ 6.5mm差込♀×6.5mm差込♀ 7.5mmネジ♀×6.5mm差込♀
58	反射式合図灯	2個		TRV-2H（電池付）
59	標準工具	1式		フロアマット、三角表示板含む
60	スペアタイヤ	1本		ブリヂストン製M8.8ホイール付き
61	補修用塗料	1缶		朱色（筆付）
62	万能斧	1本		レスキューアックスSD-01
63	ずぼら充電器	1式		24Vバッテリー適用仕様 ガネット(磁石式)電源ソケット&コード付
64	発動発電機	1台		ヤマハEF900is
65	投光器	1基		ヤマハE028
66	投光器用三脚	1個		ヤマハ
67	燃料ボトル	1本		1リットル用